



朝十小だより

学校教育目標 意欲ある子・考える子・健やかな子
～豊かな学びで社会に向けて希望を持った児童がそろう学校～

朝霞市立朝霞第十小学校
発行日 令和7年12月24日
〒351-0023
朝霞市溝沼828-1
TEL 048-469-5443
在籍児童数 685名

小さなことを積み重ねる

校長 宮腰 高子

師走の寒さが一段と深まり、校庭の木々もすっかり冬の装いとなりました。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

2学期を振り返ると、子供たちにとって大きな挑戦と成長の学期でした。10月の運動会、12月の黒目川マラソンでは、当日の頑張りはもちろん、その日に向けて積み重ねてきた練習や準備があったからこそ、大きな成功につながりました。仲間と励まし合いながら努力する姿に、子供たちの成長を強く感じました。

イチロー選手は「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道」と語っています。ここでいう「とんでもないところ」とは、自分でも想像できないほど高いレベルや、夢を超えた世界のことです。日々の努力の積み重ねが、未来を大きく変える力になるという意味です。さらにイチロー選手は「努力せずに何かを成し遂げる人間を、僕は見たことがない」とも語っています。この言葉は、どんな成果も努力なしには得られないという真理を示しています。子供たちが運動会やマラソン大会に向けて積み重ねた練習は、まさにこの言葉を体現していました。

また、出前水族館、溝沼の獅子舞、がん教育、ニンジンの収穫など、地域の方々をはじめとする多くの分野の方々にゲストティーチャーとして授業づくりを支えていただきました。こうした学びは、教室を超えた「生きる力」を育む貴重な機会です。今、教育界では「主体的・対話的で深い学び」が求められています。子供たちが自ら問いを立て、仲間と協働し、地域や社会とつながりながら学ぶことが、未来を切り拓く力につながります。本校でも、目指す学校像を「豊かな学びで、社会に向けて希望を持った児童がそろう学校」とし、多様な学びの一つ一つを大切にしながら、子供たちが自分の可能性を信じ、挑戦し続ける姿を支えていきたいと考えています。

冬休みは、家族と過ごす大切な時間です。安全に気をつけ、規則正しい生活を心がけながら、この時期に行われる年末年始の様々な行事、読書やお手伝いなど、心を豊かにする経験を積んでほしいと思います。イ



チロー選手の言葉にあるように、日々の積み重ねが未来をつくります。子供たちには、冬休みの一日一日を大切にしながら、新しい年を迎えてほしいと願っています。

新しい年も、子供たちが笑顔で学び、さらに成長できるよう、教職員一同努めてまいります。どうぞ良いお年をお迎えください。

←【十小で育ったアトランティックジャイアント（お化けカボチャ）リースは
かぼちゃのつるでできています】